

関空で募金の外貨回収

63袋分をユニセフ資金に

関西国際空港で13日、貧困の子どもを救うユニセフの活動資金にあてられる「外貨コイン募金」の回収があった

一写真。海外旅行で余った外貨を、空港に設置された募金箱に寄付してもらう取り組み。日本ユニセフ協会、日本



航空（JAL）委が主催した。第1ターミナルで、大阪関空税関支署、箱を回収。中国まざまな国の紳

農業記録賞

「農力隊」岡さん 優秀賞

けようと活動している。チームの代表、岡さんは両団体の理事で、自身も農業経験はない。素人の手で水田を耕作するのは容易ではないと分かっている。そこで目をつけたのが、稲と同じく田んぼで栽培できるが、除草などの手間がほとんどかからないマコモだ。池や河川で普通に見られるマ



岡秀郎さん

日本の原風景である里山が荒廃し、生き物の宝庫である水田がどんどん消えていく。「何とかできないだろうか」。市民団体の大阪自然環境保全協会と大阪府民環境協議の有志約10人でつくる「チーム農力隊」は、都市住民が関わりながら放置農空間と生物多様性の保全を進めるモデルケースを広

第47回毎日農業記録賞（毎日新聞社主催、農林水産省・府・府教委など後援、J-A全市など協賛）の入賞者が13日発表された。府内からは中央入賞の優秀賞一般部門に、公益社団法人理事で「チーム農力隊」代表の岡秀郎さん（82）＝大阪市旭区＝の「人生きものにぎわい・自然の恵み」を広げた「マコモダケ耕作による放置農空間・生物多様性の保全」が選ばれた。

【宇城昇】

地方表彰の優良賞には、一般部門で豊中市社会福祉協議会・豊中あぐりプロジェクト（事務局・勝部麗子さん）の「宅地を使って都市型農園を豊中あぐりの誕生～定年後の男性の居場所づくり」、高校生部門では府立農芸高（堺市美原区）3年、伊東幸士さん（18）の「世界問題」が選出された。このほか、地区入賞に一般部門3件、高校生部門2件が選ばれた。＜一般＞堺市北区、会社役員、石田真一さん（44）「市民農園、ひよんなことから始めました～祖母の畑が全ての始まり」▽富田林市、アルバイト、山崎夏実さん（28）「農家でのアルバイト2年間体験記」▽大阪市北区、自営業、富士居身佳さん（40）「嬉し・楽しいの食育を通して」＜高校生＞農芸高3年、大西克樹さん（17）「私の考える合鴨農家」▽農芸高1年、有川真菜さん（16）「守りたい自然」

優良賞受賞者の紹介は17日に掲載します。

マコモの茎肉が太ったのが、約150kgを収穫した。みから和食や中華料理などの食材になる。マコモの葉はお茶やすだねなど幅広く活用される。2017年春、能勢町山内に借りた約400平方メートルの休耕地にマコモの株を植え、成長や生き物の観察をしながら秋にはマコモダケで、淡泊な甘みから和食や中華料理などの食材になる。マコモの葉はお茶やすだねなど幅広く活用される。2017年春、能勢町山内に借りた約400平方メートルの休耕地にマコモの株を植え、成長や生き物の観察をしながら秋にはマコモダケで、淡泊な甘みから和食や中華料理などの食材になる。マコモの葉はお茶やすだねなど幅広く活用される。2年目の18年は株分けした活動。株分けなどでもっと活動を拡充し、自治体や農業従事者の方々の里山で、夢中になって20年余り。「子どもの頃、母の実家がある滋賀の里山で、夢中になって20年余り。「子どもの頃、母の実家がある滋賀の里山で、夢中になって20年余り。」

マコモで原風景守る



薬が茂ったマコモの田んぼ。葉を取ったマコモダケ。いずれも能勢町山内の耕作地。（岡秀郎さん提供）



天気	
きょう	あす
6時	16時
9時	18時
12時	21時
15時	24時
18時	
21時	
24時	
大阪	18
高槻	15
岸和田	15

のち	5時以上
一時	5時未満
時々	
数字	最高気温
(上)	最低気温
丸囲み	最高湿度
白抜き	最低湿度
△	降水確率
↑	50%以上
↓	50%未満
→	正午の風向き
矢印なし	無風

きょうはこんな日		
紫外線	洗濯	乾燥肌
大阪	2	2
高槻	2	2
岸	2	2
注意	注意	注意

あすのこと 11月15日 旧暦10月(仏滅) 月齢 18.19